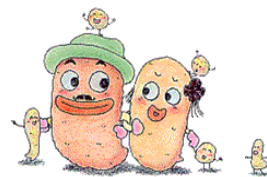


湯戸飛夜いけいけだより



Jinen Joe family

記事:

- ・まちづくりの会
平成29年度総会
- ・戸田れんげ祭に出
店
- ・ソレーネ周南3周
年祭に出店
- ・連載小説
『涙にぬれた蒼き
思いー徳山七土物
語ー』第4回
- ・「花いっぱい頑張
ってます」
- ・夜市伊賀の「お地
蔵様」
- ・今後の行事予定

会員募集中

あなたも「西徳山
まちづくりの会」
と一緒に活動しま
せんか。会では、
常時、会員を募集
しています。

連絡先:

(0834) 63-3770
(神本)まで

発行 西徳山まちづくりの会

まちづくりの会 平成29年度総会

平成29年4月22日(土)15時から戸田駅前広場で、来賓を迎えて平成29年度定期総会を開催しました。今回は、戸田駅西側で新しく整備された駐車場や東屋がある広場での初開催で、参加者は17名でした。ソレーネ周南がイベントを行う際には積極的に参加することや、戸田駅を中心としたこれまでの活動を継続し、西徳山地域が活性化するまちづくりを行っていくことを改めて確認しました。

総会後は、戸田駅前広場でサザエ・イカ・ブリ・アジなどの新鮮な海鮮食材を炭火網焼きする懇親会を開催し、来賓の方々と一緒に、きれいに整備された広場で、整備前の戸田駅前広場の思い出話や今後の活動方法話を話しながら、春の陽気の中で楽しく盛り上がりました。

【平成29年度活動方針】

(1) 戸田駅を中心とした活動を継続する

①西徳山の玄関口である戸田駅を「花の駅」として整備する

- ・戸田駅を花で飾る…花をもっと増やす。花壇に花育ての里親を募集し花育てを進める。

- ・「湯戸飛夜いけいけだより」で「花の駅」を積極的にPRする。(生け花の紹介、他)

②戸田駅前でのイベントを継続する(夏のビアガーデン、冬のクリスマス会、他)

(2) 「道の駅ソレーネ周南」を拠点とした活動に取り組む

①「道の駅ソレーネ周南」の盛り上げに協力する(イベントへの参画など)

- ・「西徳山いけいけフェスタ」に代わる収入源を検討する

(3) 西徳山の発展を目指した新たな活動に取り組む

①“観光資源”“自然環境”を活かした活動を目指す

- ・西徳山3地区の歴史・観光・史跡を紹介したMAPをつくる(ウォークMAPと連動)

- ・地元の有名人を探し「湯戸飛夜いけいけだより」で紹介する

② 西部地域のウォーキングコースを充実・PRする



思い出話に花が咲き料理が焦げました

- ・「てくてくウォーク」のコース内容を会員みんなで検討し、さらに充実する
- ・コースマップの作成とマップのHPへの登録
- ・会員増強と合わせ、西部地区を含めた市全域の方にも参加を呼びかける
- (4) 交流・研修・広報活動に取り組む
 - ①研修旅行、見学会の定期開催
 - ②セミナー、交流会の企画開催
 - ③「湯戸飛夜いけいけだより」の定期発行
- (5) 組織を充実し拡大する
 - ①会員増強
 - ・広報、ウォーキングなどイベントを積極的に

活用して会員を増やす

- ②全体会への会員の参加を促す
 - ・会員の多くが参加できるイベントを考える
 - ・映画鑑賞等のイベント
- (6) 他の諸団体と連携し効果的な活動を展開する
 - ①他団体との連携
 - ・地域で行われるイベントへ参加し、自治会などの地域住民とも連携して、まちづくり活動を継続する。資金源とする。
 - ②行政との連携及び提案

(村リン)

戸田れんげ祭に出店

これまで続けて雨天のため中止となっていた戸田れんげ祭りが4年ぶりに4月16日に開催されました。

当日は天候にも恵まれたたくさんの参加者がありました。

私たちまちづくりの会は、屋台村にカレーライスで参加しました。暑かったためなかなか完売とはならなかったのですが、参加者の皆様との会話に花が咲き、楽しい1日を過ごすことが出来ました。

何よりも男性会員2人が肩の痛くなるま

でカレー鍋を混ぜ続けてくれて、一段と美味しいカレーだった様に思います。

皆様お疲れ様でした。

(昭)



ソレーネ周南3周年祭に出店



平成26年5月17日、道の駅「ソレーネ周南」がオープンし、今年で4年目を迎えます。去る5月14日、「ソレーネ周南3周年祭」が開催され、私たちまちづくりの会は、屋台村に参加し、フルーツとアメリカンドッグで出店しました。

当日は天候もよく、人出は多かったのですが、アメリカンドッグは完売できず、残

念ながら、活動資金の確保にはつながりませんでした。

(呑くん)



連載小説

『涙にぬれた蒼き思い—徳山七士物語—』 第4回 文 城山 耕柝

1864年6月上旬、長州藩を大きく動揺させる、一大事件が京都で起こった。

京都三条にある「池田屋」で、長州藩士をはじめとする尊王攘夷派が会合をしていたところに、近藤勇・沖田総司・永倉新八・藤堂平助ら新選組の一団が襲撃してきた。この会合には、萩本藩の桂小五郎も出る予定であったが、約束の刻限より早く池田屋に到着したため、対馬藩邸で尊王攘夷派同志と面談していたことから、襲撃の難を逃れていた。しかし、この襲撃によって、吉田松陰の門下生で、「四天王（久坂玄瑞、高杉晋作、吉田稔麿、入江九一）」と評された一人、吉田稔麿が24歳の若さで落命した。

この事件の一報は、京都の長州藩邸から速やかに萩本藩に伝えられ、徳山藩にも伝わった。同時に、本藩で政務の重職に就いている久坂玄瑞から、かねてより交流のある小坂次郎佐や大城清の自宅にも書状が届いた。久坂の手紙には、「吉田を失った悲しみは言葉に尽くせないが、軽挙妄動はならぬ。今こそ、長州藩が一枚岩となって、朝廷に正面から無実を訴え、嘆願書を提出してでも長州藩の復権を果たさなければならぬ。」と高い志が切々と説かれていた。

萩本藩では、事件に激昂した来島又兵衛などが中心となり、すぐにでも京都に兵を進め、武力によって長州藩の無実を朝廷に認めさせる過激策が声高に叫ばれ、奇兵隊などの諸隊も暴発寸前となってきた。

そこで、長州藩主である毛利敬親（もうりたかちか）、元徳（もとのり）父子は、4つの支藩（岩国・長府・清末・徳山藩）の藩主を萩に参集させ、京都出兵についての意見を求めることにした。

6月下旬、藩主父子と支藩藩主の複数にわたる協議の結果、長州藩は孝明天皇を中心とした政治を志し、一藩の利害を超えて国事に尽くしており、決して天皇の意向に反してい

ない「無実」を朝廷に直訴しようと決した。ただし、公武合体派や佐幕派の各藩の動きに備え、京都近くに兵を進め、万全を期すことに決した。

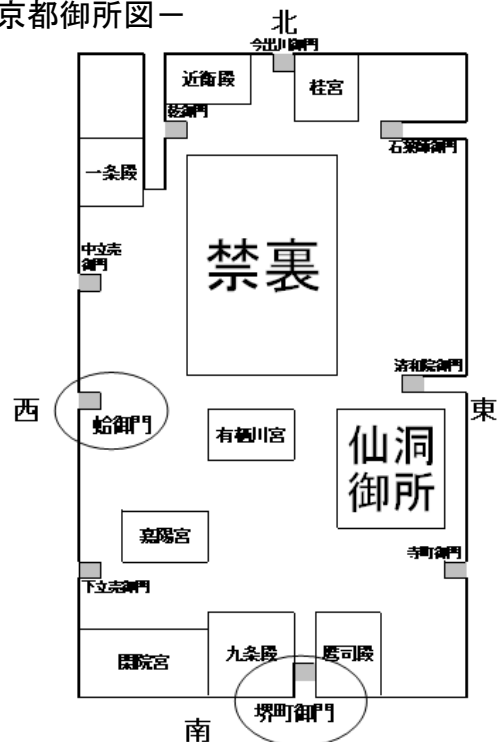
出兵は、益田右衛門介・福原越後・国司信濃の三家老を中心とした兵がまず出立し、藩主の子である毛利元徳が七卿落ちで長州に逃れていた五卿（1人は既に病死、1人は出国のため）と共に長州藩の本隊を率いて上京、岩国藩の部隊が海路で大阪を経由して京都に兵を進めることとなった。

徳山藩では、井上唯七や本田久太夫など京都の藩邸にいる藩士から次々と書状が届き、徳山藩の軍政整備と会計の責任を負っている江田市之進は夜を徹して対応に追われていた。

一方、家老の野上源次郎を中心とした保守派は、萩本藩の保守派と同じく、尊王攘夷運動を続ける正義派の勢いにおされ、長州藩全体の大きな流れに逆らえない状況だった。

いま、長州藩も支藩も、大きな選択の時期を迎え、流れに身をゆだねるしかなかった。
(以下次号)

—京都御所図—



西徳山まちづくりの会

編集後記

麦秋の季節です。麦の収穫の時期のことを言います。秋は米の取入れの時といったことからできた言葉でしょう。日本人の米を中心にした文化の所以です。私たちの会では「そうだ！昔の映画を見よう」という企画を催していますが、小津安二郎監督、原節子主演の「麦秋」も上映しました。鎌倉の日常を映し出し、最後は奈良の熟れた麦の穂が風になびいている情景を思い出します。

一方で、早苗の季節でもあります。早苗とは苗代から本田へ移す苗のことで、今の時期早乙女達が早苗を植えるという光景が見られたのでしょうか。早苗、早乙女の「さ」は神を表す接頭語という意味もあるそうです。ここでも米中心の日本文化が表れています。

麦秋と早苗が混在するということは、土地を大切に使い、備蓄できる穀物を大事にしたご先祖様の思いが伝わってきます。

麦の収穫が終われば、すぐに米の植え付け、秋には米が収穫でき、また麦の種をまく。そんなサイクルを大切にしてきたのでしょうか。

まちづくりの会も一つの思いを成し遂げれば、また新しい種をまく。そんな会でありたいと思います。

発行責任者

会長 神本康雅
広報部長 木曾裕子

西徳山まちづくりの会

ホームページURL:

nishitokuyama.web.fc2.com

「花いっぱい頑張ってます」

まちづくりの会では毎月2回土曜日に戸田駅前広場の清掃、花壇の草引きをしています。活動を始めてから、戸田駅の活性化を目指していろいろな活動してきました。夏の水やり、駅前トイレの清掃も当番制で、頑張りましたね。

今年、戸田駅前広場の再整備で広い花壇とかわいい東屋が完成しました。花壇には、しっかりと堆肥を入れました。花の苗も育っています。

夏には、東屋からも、花いっぱいの花壇が楽しめますよ。

これからも皆さんと一緒に、花いっぱい笑顔いっぱいを目指して頑張っていきたいと思います。お手伝いよろしくお願いします。(裕)



夜市伊賀の「お地蔵様」

道の傍らにそっと佇んでいるお地蔵さんは、正式には「地蔵菩薩(じぞうぼさつ)」といい仏教の信仰対象である「菩薩」の一尊です。仏様と言われる釈迦如来が入滅して、未来仏とされる弥勒菩薩が悟りを開き如来となって人々を救済するまで56億7千万年という時間がかかると言われています。その間、如来に次ぐ存在の地蔵菩薩が世界の人々を苦しみから救ってくださると言われています。お地蔵さんは、妊婦の安産を守護すると言う「子安地蔵」、災難にあった人の苦しみを地蔵菩薩が身代わりになって引き受けてくれる「身代わり地蔵」や、集落や村の境界や道の辻を守る道祖神としての「辻地蔵」も知られています。

夜市伊賀には祠に入った3つのお地蔵さんがあり、毎年7月24日には接待が行われています。(呑くん)



普春寺駐車場



上伊賀



猿面橋付近

今後の行事予定

西徳山まちづくりの会全体会

原則として毎月第1水曜日の19:30から夜市公民館

戸田駅前広場周辺の清掃

毎月第2、第4土曜日の17時から、戸田駅前広場の清掃と花壇の手入れを行っています。お手伝いしていただける方、大歓迎です。

映画鑑賞会「そうだ!!昔の映画を見よう！」

原則として毎月第3水曜日の19:00から夜市公民館で開催します。興味のある方、是非おいください。

戸田駅前海鮮バーベキュー

日時 平成29年7月29日(土) 12時30分から

場所 戸田駅前広場

会費 2千円